

英国 Oxford 社製 タンパク質 X 線回折装置を販売開始

エレクトロニクス専門商社の丸文株式会社(社長:佐藤敬司、本社:東京都中央区、資本金:62億1,450万円)は、この度、X線回折装置の英国メーカーOxford Diffraction Limited(オックスフォード ディフラクション リミテッド、以下:Oxford社)と日本国内における総代理店契約を締結し、同社のタンパク質X線回折装置「Xcalibur PX」などの販売を開始しましたのでお知らせいたします。

<タンパク質 X 線回折装置: Xcalibur PXの概要>

Xcalibur PXは、タンパク質や高分子の構造解析用に開発された回折装置です。カップ型4軸ゴニオメータ・プラットフォーム、革新的なX線光源、そして高感度のCCD検出器で構成されています。X線光源には高出力のEnhance (Mo またはCu)を採用しています。CCD 検出器を採用し、165mmの広い検出エリアと高速読出しにより、従来よりも迅速なデータ集積が可能です。

X線光源にEnhance Ultra(10倍以上の強度)を用いた、Xcalibur PX Ultraもラインナップしています。

<Xcalibur PXの主な特長>

- ・モーター駆動検出器距離(60 - 150 mm)
- ・安価な維持費、容易なメンテナンス
- ・CCD検出器に、165 mmの広い検出エリアを実現したOnyx採用
- ・オプションのX線光源Enhance Ultraを用いると10 倍以上の強度を実現

<主な用途分野>

- 生体分子(タンパク質)の構造解析

<ラインナップ>

Xcalibur PX Ultra : タンパク質
Xcalibur PX : タンパク質、高分子
Xcalibur 3 : 高分子、低分子
Xcalibur 2 : 低分子

<Oxford Diffraction Limited について>

本 社 : 英国 Oxford

設 立 : 2001 年

代表者 : Managing Director: Dr. Paul Loeffen

従業員 : 35 名

事業概要 : タンパク質 X 線回折装置及び周辺機器を製造販売するメーカー。

Oxford 社の詳細については、www.oxford-diffraction.com をご覧ください。

<丸文株式会社について>

本 社 : 東京都中央区日本橋大伝馬町 8-1

設 立 : 1947 年

代表者 : 代表取締役社長 佐藤敬司

従業員 : 932 名 (2003 年 4 月現在)

資本金 : 62 億 1,450 万円

売上高 : 1,517 億円 (2003 年 3 月期連結)

事業概要 : 集積回路を中心とした半導体、電子応用機器など、国内外の最先端エレクトロニクス製品を販売する専門商社。産業や理化学分野向けのシステム機器を扱うシステムカンパニーでは、新規ビジネスとして 2002 年度からバイオ市場向け製品の取扱いを開始し、これまで、マイクロアレイ、マイクロアレイ解析ソフトウェア (ASP)、タンパク質機能構造解析装置、質量分析装置などを販売しております。東京証券取引上市場第 1 部に上場。(コード番号 : 7537)
丸文株式会社の詳細については、www.marubun.co.jp をご覧ください。

この製品に関するお問い合わせ先

丸文株式会社 システムカンパニー システム企画開発室

担 当 : 安間 (ヤスマ)

東京都中央区日本橋大伝馬町 8-1 〒103-8577

TEL:03-3639-9805

FAX:03-3639-2358

E-mail: yasuma@marubun.co.jp

このニュースリリースに関するお問い合わせ先

丸文株式会社 広報室

担 当 : 喜多 (キタ)

東京都中央区日本橋大伝馬町 8-1 〒103-8577

TEL:03-3639-9803

FAX:03-5644-7693

E-mail: kitakita@marubun.co.jp



英国Oxford Diffraction社製
タンパク質・高分子化合物用X線回折装置「XcaliburPX」